

6-4

演題	介護士補完計画
副題	～知識より意識～

OJT
気づく

法人名	社会福祉法人 康仁会
施設名	はなの家とむろ

発表者名 (職種)	前田佳子 介護職員
共同発表者	沖 将太
共同発表者	
共同発表者	
共同発表者	

都道府県	神奈川県
住所	厚木市戸室 5-9-15
TEL	046-225-8787
FAX	046-225-8711
メールアドレス	tokuyo-info@tomei.or.jp
URL	http://koujinkai.tomei.or.jp/

今回の発表施設 またはサービスの 概要	厚木市に平成 24 年に開所のユニット型特養（長期 96 名 短期 10 名 通所 20 名） 「その人らしさ」を尊重しながら、最後まで自律した生活を支え、看取りケアにも力を入れて います。
---------------------------	---

研究の目的、PR ポイント

施設理念の1つである『仕事に誇りを持てる職員』を目標にユニット内で行える OJT（勉強会）を行いました。そこで、私たちに今足りていない、知識や技術を補完する『介護士補完計画』を実施しました。

取り組んだ課題

過去 2 年間に 4 名の職員が業務中に腰痛を発症し、仕事を休まなくてはならない状態がありました。腰痛防止として、スライドボードやスライドシートが配布されたが定着されず、使用率が 0% でした。『抱えない介助』を目標に取り組み直したが、改善されず腰痛者は増加傾向でした。

具体的な取り組み

- ① 日頃どのような介助で困っているのかアンケート調査の実施。
- ② 活動計画の作成
フロアリーダーを指導者に配置。
期間：一年間
開催周期：月に 1 回～ 4 回の水曜日
開催時間：16 時半～ 17 時の約 30 分間
- ③ 活動内容
基礎の再確認をする為、YouTube 動画を視聴、セラピストやオムツ業者からの指導、実演後フロアリーダーが実際に職員を利用者に見立てて、やってみせて、具体的イメージを持ってもらう。注意事項などの説明を行ったのちに職員同士でやってもらい、フロアリーダーが評価・指導を行う形を取り組みました。(Show → Tell → Do → Check) そして、日常のケアに反映させました。

活動の成果と評価

【成果】

- ・今まではスライドボードの使用率が 0% だったが、「毎回使用している 42%」「時々使用している 42%」「使用していない 16%」と効果が表れました。
- ・下肢が拘縮している方への移乗方法では、今までは持ち上げていたがスライドボードと足台を作成し使用することで、利用者の残存機能を活かした

移乗方法へと変化し、利用者と職員の負担の減少にも繋がりました。

- ・食事姿勢を見直し、足台を使用する事で支持面積が確保でき、姿勢崩れが減少しました。

【評価】

- ・職員からの満足度は 77%、現場で役に立つかは 72% と高水準の結果となりました。
- ・OJT を行う事で知識と技術の補完という意味では介護士補完計画は目標達成できたと思います。
- ・一人一人が専門職として、自覚を持ち問題解決に取り組む姿勢が見られたことはとても大きな変化だと思います。変化が現れたのは『主体的・対話的で深い学び』を意識した OJT を行う事で、参加職員が自ら主体性を持って問題解決に取り組み、その事について共有・対話出来たことが結果につながったのではないかと考えます。今回の活動を通じて知識より、まず意識改革を促していく事が大切だと感じました。

今後の課題

1. ユニットケアの為、参加人数の確保ができにくく、業務時間内で OJT（勉強会）を行うことが難しい。その為、勤務時間外になってしまう。
2. 指導できる職員が少ない。
3. 活動自体が指導者に任せきりにするのではなく、参加者の主体性を高めていく必要がある。

参考資料など

- ・介護現場の OJT とは？新人教育の目的と効果的な指導方法 - きらケア研究所 (kiracare.jp)
- ・OJT とは何か？意味、導入方法、効果、注意点などを徹底解説 | 人材派遣のお仕事なら【スタッフサービス】(staffservice.co.jp)
- ・OJT と OFF-JT、SD とは？教育制度で押さえるべき 3 つの方法 (hito-link.jp)
- ・平均学習定着率が向上する「ラーニングピラミッド」とは？ | キャリア教育ラボ (mynavi.jp)